

2016年7月映画興行部門興行成績速報

7月の東宝グループ会社の興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

679スクリーン **興行収入** **5,810,287,669 円** **(前年比 97.1%)**

◆4月14日、16日に発生しました熊本地震の影響で、熊本2サイトが休館しております。

7月主要稼働作品

『アリス・イン・ワンダーランド／時間の旅』『ポケモン・ザ・ムービーXY&Z「ボルケニオンと機巧(からくり)のマジアナ』』『ファインディング・ドリー』『インデペンデンス・デイ:リサージェンス』『シン・ゴジラ』『ONE PIECE FILM GOLD』『HIGH & LOW THE MOVIE』『それいけ!アンパンマン おもちゃの星のナンダとルンダ』『トランボ ハリウッドに最も嫌われた男』『ターザン:REBORN』『存在する理由 DOCUMENTARY of AKB48』『DOCUMENT OF KYOSUKE HIMURO』『ブルックリン』『TOO YOUNG TO DIE! 若くして死ぬ』『ズートピア』『植物図鑑 運命の恋、ひろいました』『貞子 vs 伽椰子』他

1月から7月までの東宝グループ会社の累計興行成績は次のとおりです(消費税等を含みます)。

東宝グループ館総合計

興行収入 **35,993,010,896 円** **(前年比 105.3%)**

※ここでの東宝グループとは、TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、(株)東京楽天地、オーエス(株)、スバル興業(株)以上5社が経営する映画館をいいます。

★TOHOシネマズ(株)、関西共栄興行(株)、スバル興業(株)は、東宝(株)連結子会社
(株)東京楽天地、オーエス(株)は、東宝(株)持分法適用関連会社

※共同経営館(44スクリーン)のTOHOシネマズ分を含みます。

※「興行収入」とは映画館の入場料収入を指します。売店収入などは含まれておりません。

以 上